令和6年第2回臨時会

白馬村議会会議録

令和6年10月30日 開会

令和6年10月30日 閉会

白馬村議会

令和6年第2回白馬村議会臨時会議事日程

令和6年10月30日(木) 午前11時00分 開会

(第1日目)

1. 開 会 宣 告

日程第 1 諸般の報告

日程第 2 会議録署名議員の指名

日程第 3 会期の決定

会 期 自 令和6年10月30日

至 令和6年10月30日

日程第 4 村長あいさつ

日程第 5 承認第13号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第4号)の専決処分報告
について

日程第 6 議案第49号 物品の取得について

日程第 7 議案第50号 物品の取得について

日程第 8 議案第51号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第5号)

令和6年第2回白馬村議会臨時会（第1日目）

1. 日 時 令和6年10月30日 午前11時00分より

2. 場 所 白馬村議会議場

3. 応招議員

第1番	丸山和之	第7番	太谷修助
第2番	増井春美	第8番	津滝俊幸
第3番	横川恒夫	第9番	松本喜美人
第4番	加藤ソフィー	第10番	加藤亮輔
第5番	切久保達也	第11番	丸山勇太郎
第6番	尾川耕	第12番	太田伸子

4. 欠席議員

なし

5. 地方自治法第121条の規定により説明のため議会に出席した者の職氏名

村 長	丸山俊郎	副 村 長	吉田久夫
教 育 長	横川秀明	総 務 課 長	田中克俊
健康福祉課長	工藤弘美	会計管理者会計室長	太田俊祉
参事兼建設課長	矢口俊樹	観 光 課 長	鈴木広章
農 政 課 長	田中洋介	上下水道課長	廣瀬昭彦
税 務 課 長	太田雄介	住 民 課 長	堤 則 昭
参事兼教育課長	横川辰彦	子育て支援課長	内山明子
生涯学習スポーツ課長	松澤宏和	総務課長補佐兼総務係長	長澤 肇

6. 欠席した職員

なし

7. 職務のため出席した事務局職員

議会事務局長 下川浩毅

8. 本日の日程

- 1) 諸般の報告
- 2) 会議録署名議員の指名
- 3) 会期の決定
- 4) 村長あいさつ
- 5) 議案審議

承認第13号、議案第49号、議案第50号、議案第51号（村長提出議案）説明、質

疑、討論、採決

9. 地方自治法第149条第1項の規定により長より提出された議案は次のとおりである。

1. 議案第49号 物品の取得について
2. 議案第50号 物品の取得について
3. 議案第51号 令和6年度白馬村一般会計補正予算（第5号）

開会 午前11時00分

1. 開会宣告

議長（太田伸子君） ただいまの出席議員は12名です。

令和6年第2回白馬村議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

2. 議事日程の報告

議長（太田伸子君） 本日の議事日程は、お手元に配付してあります資料のとおりです。

△日程第1 諸般の報告

議長（太田伸子君） 日程第1 諸般の報告をいたします。

監査委員から、令和6年8月、9月分の一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の例月現金出納検査報告書が提出されております。内容につきましては、お手元に配付いたしました資料のとおりですので、これをもって報告に代えさせていただきます。

これで諸般の報告を終わります。

△日程第2 会議録署名議員の指名

議長（太田伸子君） 日程第2 会議録署名議員の指名をいたします。会議規則第119条の規定により、第5番加藤ソフィー議員、第6番尾川 耕議員、第7番太谷修助議員、以上3名を指名いたします。

△日程第3 会期の決定

議長（太田伸子君） 日程第3 会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日限りの1日間といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（太田伸子君） 異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日1日限りの1日間と決定いたしました。

△日程第4 村長挨拶

議長（太田伸子君） 日程第4 村長より招集の挨拶を求めます。丸山村長。

村長（丸山俊郎君） 令和6年第2回白馬村議会臨時会を招集しましたところ、議員各位のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の第50回衆議院議員総選挙は、政治資金問題への対応や、政治に対する国民の信頼回復が争点になったわけですが、現政権にとって大変厳しい結果となりました。単独で過半数を確保できる政党が不在であり、今後の政権運営の枠組みは不透明な状況であります。

村政を担う私としては、村民の利益に繋がる村政運営に心掛け、特に村政に関する情報を村民にわかりやすく発信することが重要なことであると再認識したところであります。

さて、9月定例会閉会後に、観光振興のための財源として検討しています宿泊税につきまして、

長野県そして本村共に動きがありましたので、ご報告をさせていただきます。

長野県阿部守一知事は、9月26日に開会した9月県議会で「(仮称)観光振興税」の骨子を発表しました。骨子では、税額は1人1泊につき300円の一律定額、宿泊料金が3,000円未満の場合は課税しない免税点の設定、修学旅行その他学校行事に参加している者を課税免除とすること等が示されました。

これによる税収は年間45億円程度を見込んでおり、市町村には税収の最大2分の1を交付金として配分すること。また、市町村が独自課税を行なう場合には県の税額を300円から150円に引き下げて、独自課税市町村の課税余地を設定するといったことも示されました。

長野県は、令和8年4月の導入を目指し、早ければ11月県議会での条例案の提出を視野に入れて取り組むとのことでもありました。

これを受けまして、村では10月8日に県の骨子や村としての今後の進め方について、宿泊事業者をはじめとする村民の皆さまに説明する機会を設けました。この説明会にはオンラインを含め60名超の方にご参加いただき、県の骨子については、県山岳高原観光課の若林課長から、村の今後の進め方については、税務課長からそれぞれ説明させていただきました。

参加者からは、県の説明に対して、宿泊税の相場からみて300円という税額は割高に感じるためその設定理由を問う質問や、宿泊税以外の税源の確保に関する考え方を問う質問がありました。また、村の説明に対しては、宿泊者と宿泊施設が税導入の必要性を理解し、効果を実感できるようにするためには、より具体的な用途の提示が必要であるといった意見や、宿泊施設の滞在環境を向上させるような事業に対する支援を求める声がありました。

10月18日には、第3回宿泊税検討部会が開催され、公表された県制度の内容を踏まえ、村として独自課税を行なうのか、名称はどうするのか、税率はどうするのかといったことが検討されたとの報告を受けています。

部会では、独自課税を行なうのかについては、宿泊税を導入するねらいと宿泊料金の分布から考え、段階的定額制により独自課税を行なうことが有利であること、名称については、県税と統一感のある名称が望ましく、観光振興という目的を同じくする他の財源も並行して検討していることを考え、「(仮称)白馬村観光振興税」とすること、税率については、村内における宿泊料金の分布から低価格帯への配慮と高価格帯への対応を同時に実現するため、宿泊料金の価格帯に応じた5段階の段階的定額制にすることがそれぞれ決定されました。

10月22日に開催された第2回観光振興のための財源確保検討委員会では、宿泊税検討部会から村政度の骨子に関する検討結果が報告され、(仮称)白馬村観光振興税制度の骨子案が協議され、その結果が翌23日に答申を受けました。

これを受けて村では、28日の庁議において制度の骨子を協議し、決定し、合わせてパブリックコメントの実施要領についても協議し、11月11日から12月10日までの30日間、骨子

に対するパブリックコメントを実施することを決定しました。

11月に入りましたらホームページを更新し、制度の骨子およびパブリックコメントに関する広報を行なってまいります。また、パブリックコメントの実施に合わせて、職員が各団体に出向いて制度内容を説明する機会も設けてまいりたいと考えておりますので、関係する大勢の皆さまにご参加いただき、制度について理解を深めていただきたいと思います。

本臨時会に提出する案件は、衆議院議員総選挙と黒豆沢土砂災害被災者への見舞金に係る専決処分報告。除雪ドーザーの購入と白馬中学校生徒用のタブレットの購入に係る契約、黒豆沢土砂災害復旧工事に関する補正予算の議案3件です。

詳細につきましては、担当課長から説明させますので、慎重審議をお願い申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

議長（太田伸子君） これより承認案件および議案の審議に入ります。なお、本臨時会の質疑につきましては、会議規則第55条の規定により、一議員一議題につき3回まで。また、会議規則第54条第3項の規定により、自己の意見を述べることができないと定められておりますので申し添えます。お諮りいたします。

日程第5 承認第13号から日程第8 議案第51号までは会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略することといたしたいと思いますが、これについて採決いたします。

この採決は挙手によって行います。

日程第5 承認第13号から日程第8 議案第51号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略することに賛成の方の挙手を求めます。

（全 員 挙 手）

議長（太田伸子君） 挙手全員です。よって、日程第5 承認第13号から日程第8 議案第31号について、委員会付託を省略する件は可決されました。したがって、委員会付託を省略し、質疑、討論、採決をすることにいたします。

△日程第5 承認第13号 令和6年度白馬村一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告について

議長（太田伸子君） 日程第5 承認第13号 令和6年度白馬村一般会計補正予算（第4号）の専決処分についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。田中総務課長。

総務課長（田中克俊君） 承認第13号 令和6年度白馬村一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告についてご説明申し上げます。

令和6年度白馬村一般会計補正予算（第4号）について、地方自治法第179条第1項の規定により、令和6年10月9日に専決処分をしたので、同条第3条の規定により議会に報告し、承認を求めらるるものであります。

おめくりいただき、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ811万3,000円を追加し、歳入歳出の予算の総額を70億8,506万6千円としたものでございます。本補正予算は、10月27日に執行された衆議院議員総選挙に係る費用と、黒豆沢土砂災害に係る災害見舞金を計上したものでございます。

予算書6ページ、歳出明細をご覧ください。2款4項4目、衆議院議員総選挙事業711万3千円の増額は、衆議院議員総選挙に係る職員の人件費、ポスター掲示板の設置や入場券印刷委託料など、選挙に要する費用でございます。なお、財源として衆議院議員総選挙事務委託金を同額充当しております。

続いて7ページ、3款1項1目、黒豆沢土砂災害支援事業100万円の増額は、黒豆沢土砂災害で被災された皆さまへの災害見舞金でございます。一般寄付金としてお預かりしておりますものを見舞金として、被害の大きさに応じて配分し、21名の方へ災害見舞金としてお渡しするものでございます。

説明は以上であります。

議長（太田伸子君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

議長（太田伸子君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

議長（太田伸子君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

採決いたします。この採決は起立によって行います。

承認第13号 令和6年度白馬村一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告についてを原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（全 員 起 立）

議長（太田伸子君） 起立全員です。よって、承認第13号は原案のとおり可決されました。

△日程第6 議案第49号 物品の取得について

議長（太田伸子君） 日程第6 議案第49号 物品の取得についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。矢口参事兼建設課長。

参事兼建設課長（矢口俊樹君） 議案第49号 物品の取得について、ご説明いたします。

地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるものであります。

取得目的は、令和6年度除雪ドーザーの購入でありまして、除雪ドーザー14トン級ロータリー除雪装置つき1台を導入するものであります。取得金額は3,619万円。契約の相手方は、松本

市村井町南4-23-1。日本キャタピラー合同会社松本営業所、所長、阿部純一であります。

この物品取得につきましては、現在使用しております除雪ドーザーは20年を経過し、老朽化が著しいこと。また、脱着式ロータリーの損傷もあったことから合わせて買い替えを行なうものでありまして、旧車両と同一仕様の機種を有している同社との随意契約により、10月17日付けで仮契約を締結したものであります。

以上で説明を終わります。

議長（太田伸子君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（太田伸子君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（太田伸子君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第49号 物品の取得についてを原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全 員 挙 手）

議長（太田伸子君） 挙手全員です。よって、議案第49号は原案のとおり可決されました。

△日程第7 議案第50号 物品の取得について

議長（太田伸子君） 日程第7 議案第50号 物品の取得についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。横川参事兼教育課長。

参事兼教育課長（横川辰彦君） 議案第50号 物品の取得について、ご説明いたします。

議案第49号と同様に、議会の議決を求めるものであります。

取得目的は、令和6年度白馬中学校端末更新業務（補助）において、白馬中学校生徒用情報端末機器を更新したものです。取得する物品は、Lenovo社製のタブレット端末192台。取得金額は992万6,400円です。契約の相手方は、長野県松本市大字笹賀7941。富士電機ITソリューション株式会社松本支店、支店長、鎌田 斉三郎です。

白馬中学校の情報端末は、老朽化が著しいことからリースアップしている2学年分を更新するものです。この補助事業は県内市町村が共同で調達することになっており、業者の選定は自治振興組合が行ないました。10月23日に白馬村の購入価格と業者を決定し、この10月25日に仮契約を締結したものです。

説明は以上です。

議長（太田伸子君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(太田伸子君) 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(太田伸子君) 討論なしと認め、討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第50号 物品の取得についてを原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

(全 員 挙 手)

議長(太田伸子君) 挙手全員です。よって、議案第50号は原案のとおり可決されました。

△日程第8 議案第51号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第5号)について

議長(太田伸子君) 日程第8 議案第51号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第5号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。田中総務課長。

田中総務課長(田中克俊君) 議案第51号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第5号)について、ご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ720万円を追加し、歳入歳出予算の総額を70億9,226万6千円とするものでございます。

6ページ、歳入明細をご覧ください。14款2項3目、土木費国庫補助金864万6千円の増額は、黒豆沢土砂災害復旧工事費に対する国庫補助金の増額分であります。また、21款1項8目、災害復旧債770万円の増額につきましても、増額となる災害復旧工事費に対する増額分でございます。18款1項1目、財政調整基金繰入金914万6千円の減額は、一般財源の不足分が減額となりますことから、財政調整基金繰入金を減額するものであります。

続きまして、7ページの歳出明細をご覧ください。10款1項1目、過年発生都市災害復旧事業720万円の増額は、黒豆沢土砂災害による堆積土砂排除事業において堆積土砂処分量の増加等による災害復旧工事費の増額でございます。

議案書お戻りいただき、3ページをご覧ください。第2表の地方債補正でございます。ただいま説明しました災害復旧工事の増額に伴い、災害復旧債の限度額を増額するものでございます。

説明は以上であります。

議長(太田伸子君) 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(太田伸子君) 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(太田伸子君) 討論なしと認め、討論を終結いたします。

採決いたします。この採決は起立によって行います。

議案第51号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第5号)を原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

(全 員 起 立)

議長(太田伸子君) 起立全員です。よって、議案第51号は原案のとおり可決されました。

これで、本臨時会に付された議事日程は全て終了いたしました。

以上をもちまして、令和6年第2回白馬村議会臨時会を閉会といたします。

大変御苦労さまでした。

閉会 午前11時14分

以上会議のてん末を記載し、地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 年 月 日

白馬村議会議長

白馬村議会議員

白馬村議会議員